

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	白井市における便利で住みやすい環境の実現							重点配分対象の該当					
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度 (5年間)												
交付対象	白井市												
計画の目標	下水道施設の整備と適正な維持管理を進めることにより、安全で快適な生活環境を確保します。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	191	A	191	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	①下水道汚水整備人口普及率を92.3%(H28)から93.1%(H32)に増加させる。 ①下水道汚水整備人口普及率 下水道汚水整備済み人口(人) / 下水道汚水全体計画人口(人)	92%	92%	93%
2	②下水道による都市浸水対策達成率を29.80%(521.9ha)(H28)から29.85%(522.9ha)(H32)に増加させる。 ②下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積(ha) / 浸水対策を実施すべき面積(ha)	29%	29%	29%
3	③長寿命化計画の策定達成率をH28(0%)からH32(100%)とする。 ③下水道ストックマネジメント計画の策定 下水道ストックマネジメント計画策定済 / 下水道ストックマネジメント計画策定数	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H28	H29	H30	H31	R02					
一体的に実施することにより期待される効果 備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	白井市	直接	一	管渠（ 污水）	新設	白井1号污水枝線整備（未 普及解消）	φ100×L=700m	白井市	■	■				51		—		
	A07-002	下水道	一般	白井市	直接	一	管渠（ 雨水）	新設	神崎23号雨水枝線整備（ 浸水対策）	□600～□700×L=101m	白井市		■				30		—		
	A07-003	下水道	一般	白井市	直接	一	管渠（ 雨水）	新設	神崎20号雨水幹線・30号 雨水枝線整備（浸水対策 ）	□1300～□2500×L=30m	白井市		■				45		—		
	A07-004	下水道	一般	白井市	直接	一	管渠（ 污水）	改築	下水道ストックマネジメ ント計画策定（改築更新 ）	下水道ストックマネジメン ト計画策定業務 1式	白井市		■	■	■	■	65		未策定		
下水道ストックマネジメント																					
											小計							191			
											合計							191			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
白井市社会資本総合整備計画事後評価機関である「白井市上下水道事業審議会」において実施	令和5年1月
公表の方法	市ホームページ上にて公表

○事業効果の発現状況

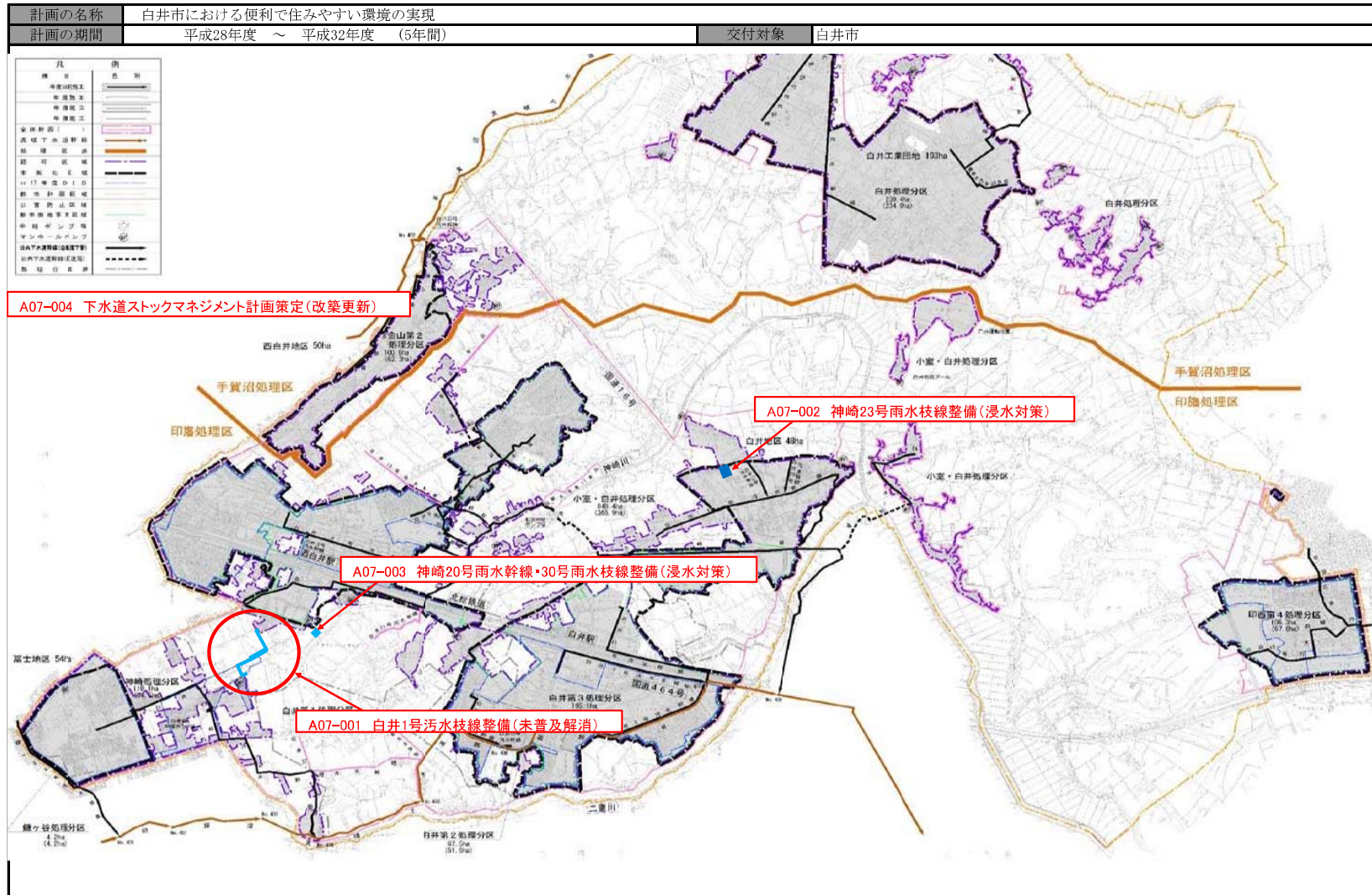
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>①枝線の整備を進めることにより、衛生的で快適な生活環境を整えることができた。</p> <p>②下水道施設の整備により、都市浸水対策達成率が向上した。</p> <p>③下水道施設の今後の老朽化の進展状況を考慮しながら計画的な点検・調査や修繕・改築を実施するため、「下水道ストックマネジメント計画」を策定し、今後の修繕・改築需要等について整理した。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

<p>既成市街地の雨水整備を進める計画としており、富士地区（神崎30号雨水枝線整備）の都市浸水対策を進める。</p>
--

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道汚水整備人口普及率	
	最終目標値	93%
2	最終実績値	89%
	下水道による都市浸水対策達成率	
3	最終目標値	29%
	最終実績値	29%
	下水道ストックマネジメント計画の策定	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

(参考図面) 社会資本整備



社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	白井市における便利で住みやすい環境の実現（重点計画）			重点配分対象の該当	○								
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）												
交付対象	白井市												
計画の目標	下水道施設の整備と適正な維持管理を進めることにより、安全で快適な生活環境を確保します。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	6	A	6	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	下水道汚水整備人口普及率を92.3%（H28）から93.1%（H32）に増加させる。 下水道汚水整備人口普及率 下水道汚水整備済み人口（人）／下水道汚水全体計画人口（人）	92%	92%	93%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。														

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	白井市	直接	—	管渠（ 污水）	新設	白井1号污水枝線整備（未 普及解消）	管渠新設に伴う本復旧 A=1, 1 40㎡	白井市	■					6	—	
											小計						6		
											合計						6		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

白井市社会資本総合整備計画事後評価機関である「白井市上下水道事業審議会」において実施

事後評価の実施時期

令和5年1月

公表の方法

市ホームページ上にて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

枝線の整備を進めることにより、衛生的で快適な生活環境を整えることができた。

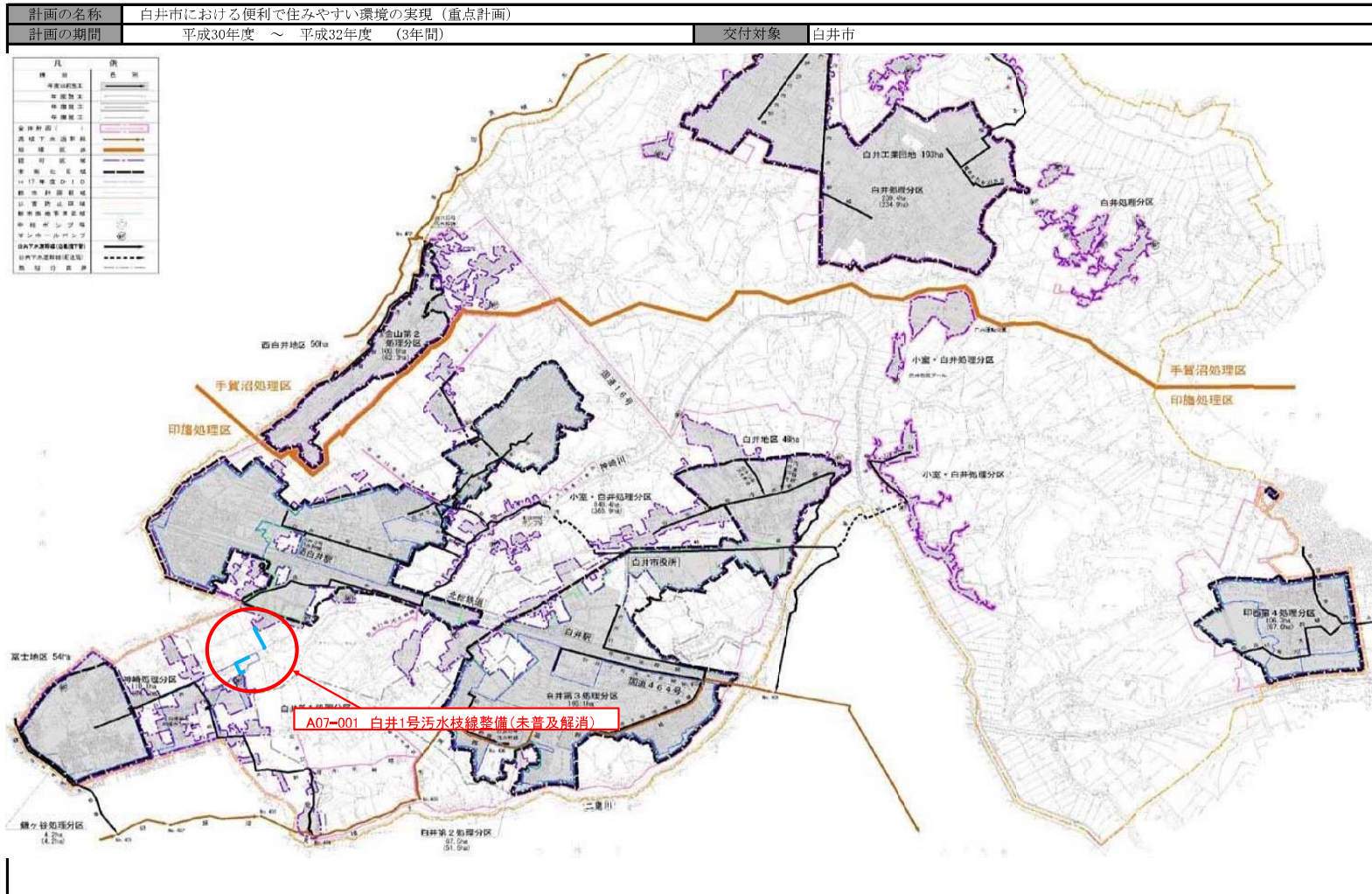
定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

下水道整備は概成してるため、今後はストックマネジメント計画に基づいた適正な維持管理に努めます。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道汚水整備人口普及率	
	最終目標値	93%
	最終実績値	89%
		計画していた開発地区の汚水整備については完了したため該当地区を整備済み人口として計上し増加したが、他地区の汚水整備済み人口が減少したため。全体として減となった。

(参考図面) 社会資本整備



社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	白井市下水道における浸水対策・改築更新の推進（防災・安全）（重点計画）							重点配分対象の該当	○				
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）												
交付対象	白井市												
計画の目標	下水道施設の整備と適正な維持管理を進めることにより、安全で快適な生活環境を確保します。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	479	A	479	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	下水道による都市浸水対策達成率を29.80%(521.9ha) (H28)から29.85%(522.9ha) (H32)に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (ha)	521ha	522ha	523ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。														

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	白井市	直接	-	管渠（ 雨水）	新設	神崎23号雨水枝線整備（ 浸水対策）	□600新設に伴う本復旧 A=40 0㎡	白井市	■					3	-	
	A07-002	下水道	一般	白井市	直接	-	管渠（ 雨水）	新設	神崎20号雨水幹線・30号 雨水枝線整備（浸水対策 ）	□1300～□2500×L=448m	白井市	■	■	■			476	-	
											小計						479		
											合計						479		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

白井市社会資本総合整備計画事後評価機関である「白井市上下水道事業審議会」において実施

事後評価の実施時期

令和5年1月

公表の方法

市ホームページ上にて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道施設の整備により、都市浸水対策達成率が向上した。

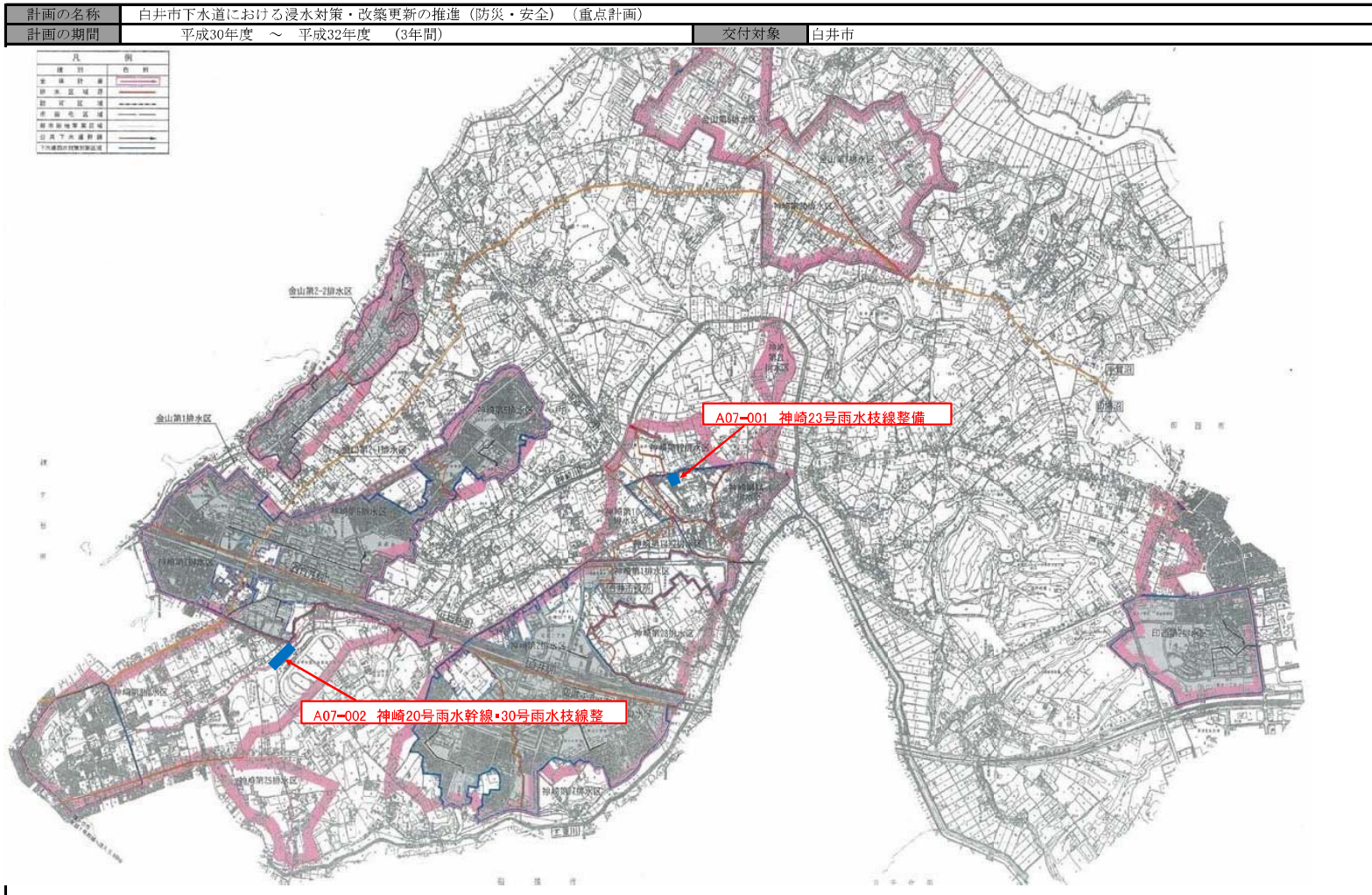
定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

既成市街地の雨水整備を進める計画としており、富士地区（神崎30号雨水枝線整備）の都市浸水対策を進める。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道による都市浸水対策達成率	
	最終目標値 523ha	目標値が面積単位となっているが、成果目標である達成率で表すと最終目標値29.85%に対し最終実績値29.85%となり、成果目標を達成した。
最終実績値 523ha		

(参考図面) 防災・安全



社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	白井市下水道における改築更新の推進（防災・安全）							重点配分対象の該当					
計画の期間	令和02年度～令和02年度（1年間）												
交付対象	白井市												
計画の目標	計画期間内における下水道ストックマネジメント計画に基づく改築延長/下水道ストックマネジメント計画に基づく全体改築延長												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	14	A	14	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	下水道ストックマネジメント計画に基づく改築延長をR2当初(0%)からR2末(100%)とする	R2	R2	R2
	下水道ストックマネジメント計画に基づく改築	0%	50%	100%
	下水道ストックマネジメント計画に基づく改築延長/下水道ストックマネジメント計画に基づく全体改築延長			

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>	避難確保計画の策定	<input type="checkbox"/>	避難行動要支援者名簿の提供	<input type="checkbox"/>
下水道ストックマネジメント																

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	白井市	直接	白井市	管渠（ 汚水）	改築	下水道ストックマネジメント計画に基づく改築業務（改築更新）	下水道ストックマネジメント計画に基づく改築	白井市	■					14		策定済
		下水道ストックマネジメント																	
											小計						14		
											合計						14		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

白井市社会資本総合整備計画事後評価機関である「白井市上下水道事業審議会」において実施

事後評価の実施時期

令和5年1月

公表の方法

市ホームページ上にて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

改築が必要な施設にポンプ交換工事を施工しライフサイクルコストの低減を図り、持続的な下水道機能の確保を行った。

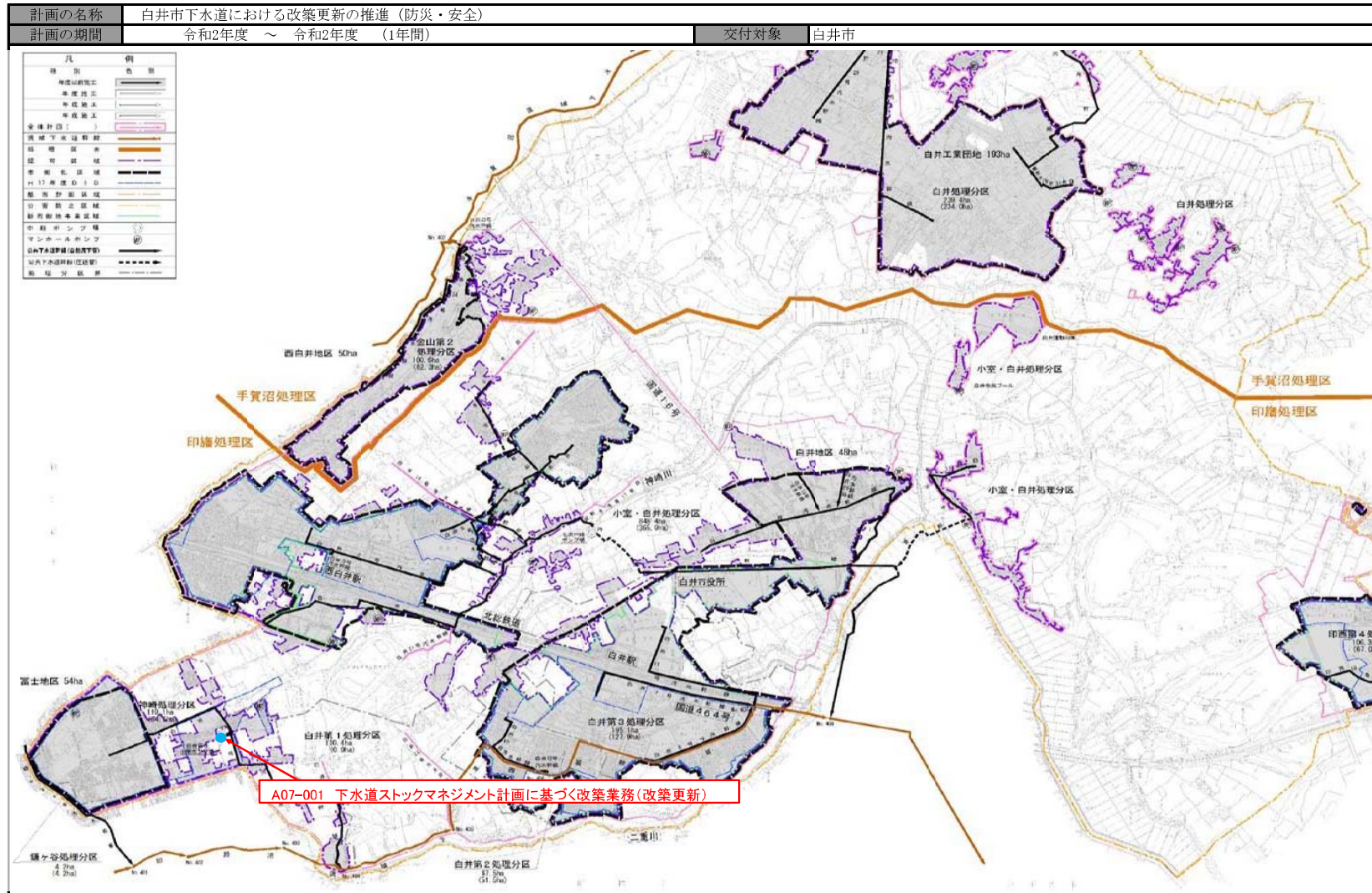
定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き、ストックマネジメント計画に基づいて下水道施設の改築や更新を実施していく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

(参考図面) 防災・安全



社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	白井市下水道における浸水対策・改築更新の推進（防災・安全）							重点配分対象の該当					
計画の期間	平成28年度～平成28年度（1年間）												
交付対象	白井市												
計画の目標	下水道施設の整備と適正な維持管理を進めることにより、安全で快適な生活環境を確保します。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	50	A	50	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	①下水道による都市浸水対策達成率を29.80%(521.9ha)から(H28)から29.85%(522.9ha)(H32)に増加させる。 ①下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積(ha)/浸水対策を実施すべき面積(ha)	522ha	522ha	523ha
2	②長寿命化計画の策定達成率をH28(0%)からH32(100%)とする。 ②下水道ストックマネジメント計画の策定 下水道ストックマネジメント計画策定済/下水道ストックマネジメント計画策定数	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。														

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	H32			
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	白井市	直接	一	管渠（ 雨水）	新設	神埼23号雨水枝線整備（ 浸水対策）	□600～□700× L=88m	白井市	■					0	—	
	A07-002	下水道	一般	白井市	直接	一	管渠（ 雨水）	新設	神埼20号雨水幹線・30号 雨水枝線整備（浸水対策 ）	□1300～□2500×L=30m	白井市	■					41	—	
	A07-003	下水道	一般	白井市	直接	一	管渠（ 汚水）	改築	下水道ストックマネジメ ント計画策定（改築更新 ）	下水道ストックマネジメン ト計画策定業務 1式	白井市	■					9	未策定	未策定
											小計						50		
											合計						50		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
白井市社会資本総合整備計画事後評価機関である「白井市上下水道事業審議会」において実施	令和5年1月
	公表の方法 市ホームページ上にて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>①下水道施設の整備により、都市浸水対策達成率が向上した。 ②下水道施設の今後の老朽化の進展状況を考慮しながら計画的な点検・調査や修繕・改築を実施するため、「下水道ストックマネジメント計画」を策定し、今後の修繕・改築需要等について整理した。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

既成市街地の雨水整備を進める計画としており、富士地区（神崎30号雨水枝線整備）の都市浸水対策を進める。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道による都市浸水対策達成率	
	最終目標値 523ha	目標値が面積単位となっているが、成果目標である達成率で表すと最終目標値29.85%に対し最終実績値29.85%となり、成果目標を達成した。
最終実績値 523ha		
2	下水道ストックマネジメント計画の策定	
	最終目標値 100%	
最終実績値 100%		

(参考図面) 防災・安全

